



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

### 輪狩 兼益 (B)

#### 棚卸資産の評価方法 (改訂版)

- ① 仕入割引 5
- 仕入割引の会計処理には3つの方法があるという。利益に与える影響はどうか。どれが望ましいのだろうか。
- (1) 仕入高から差し引く
  - (2) 営業外収益項目として処理する
  - (3) 仕入高は常に仕入割引後の金額 (現金支払い金額) で記帳し、仕入割引が利用できなかった場合だけ、その相当額を営業費用として処理する 10
- ② 自動車の在庫評価 15
- あるアメリカの日本車ディーラーは、各車種の実際仕入れ価格にもとづいて、その売価を付けている。年ごとの仕入れ価格は自動車の製造原価アップを反映して、一度か二度値上がりすることがある。
- このディーラーが自動車の払出価額の決定に、後入先出法を採用するのは間違いだろうか。
- また反対に、ある機器ディーラーは仕入れ価格が変わるたびに、小売価格を付け替えている。このディーラーが先入先出法を用いるのは間違っているだろうか。 20
- ③ 棚卸資産の評価方法 25
- 次の考え方は正しいだろうか。
- (1) 回転の速い商品在庫の場合、後入先出法と先入先出法による評価の差は相対的に小さい 25
  - (2) 平均法を適用すると利益は、後入先出法を適用した場合と先入先出法を適用した場合のそれぞれの利益の間にくる
  - (3) ある年に仕入れ価格が値上がりし、次の年に同額だけ値下がりした場合、先入先出法を採用していても後入先出法を採用していても、2年間の利益の総和は同じである 30

---

このケースはハーバード・ビジネス・スクールがクラス討議の資料として作成したものを、同校の好意ある許可を得て慶應義塾大学ビジネス・スクールが翻訳したものである。ただし、ケースをゆがめない程度に固有名詞や貨幣単位などを変更してある。(1981. K. T作成、1994. T. Y改訂)